



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和61年10月1日現在)

人口	21,564	(-6)
男	10,574	(-6)
女	10,990	(±0)
世帯数	6,649	(±0)
一人のうごき(9月中)		
転入	51人	転出 60人
出生	12人	死亡 9人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



来春から小学1年生

来年4月、小学校に入学する児童を対象にした健康診断が行われました。町内で来春、小学1年生になるのは204人。

10月16日には町民会館で行われ、50人の子供たちが身長、体重、聴力、視力、血液型、問診、内科、歯科検診を神妙な表情で受診し、来春からの学校生活の夢を広げていました。

61年 11

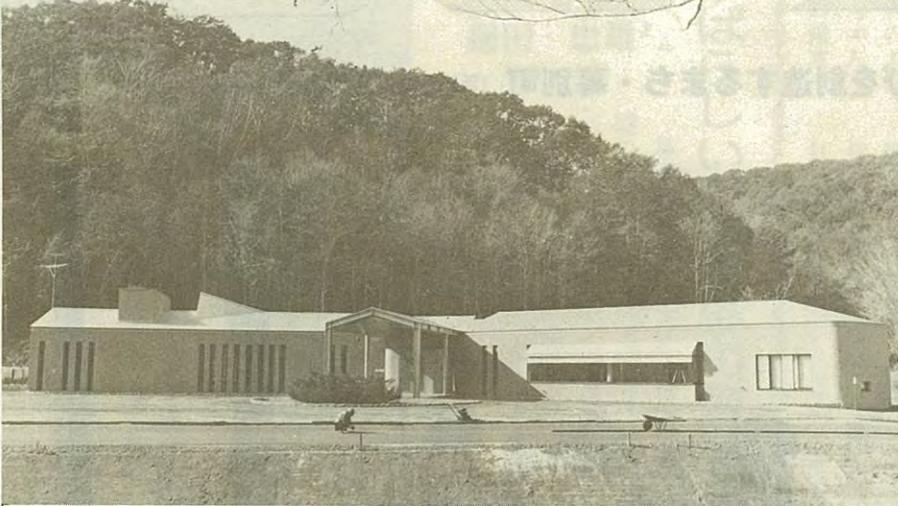
No. 418

着々と進む町づくり

深まる秋と競うように、町が進める各所の建設工事が追い込み期に入っています。

昨年着工した葬斎場は完成し、十一月一日から使用開始になりました。今年度着工したものは、年内の完成を目指して急ピッチで工事が進められています。

着々と進む今年度の町づくりの中から、主なものを紹介します。



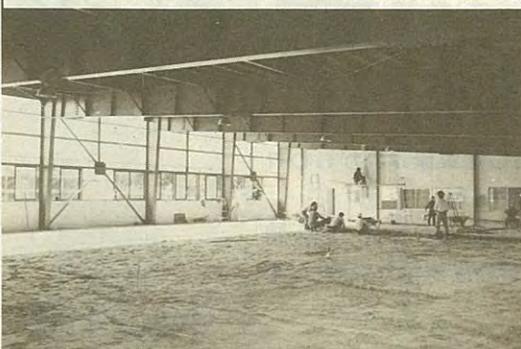
葬 斎 場



昨年の十月に着工し、今年の十月末に完成しました。鉄筋コンクリート平屋建てで、面積は四百七十七平方メートルです。地域環境の保全を考慮し、排煙、臭気の完全燃焼設備を施しています。炉は最新式のもので三基、十五畳の休憩室が三室あります。十一月一日から供用開始をしています。工費約二億円。

室内ゲートボール場としての老人健康増進センターを白人公園内に建設中です。約600平方メートルの面積で、人工芝を敷き、正式のゲートボールコート1面を設置します。工費は3,580万円。使用開始は12月上旬の予定です。

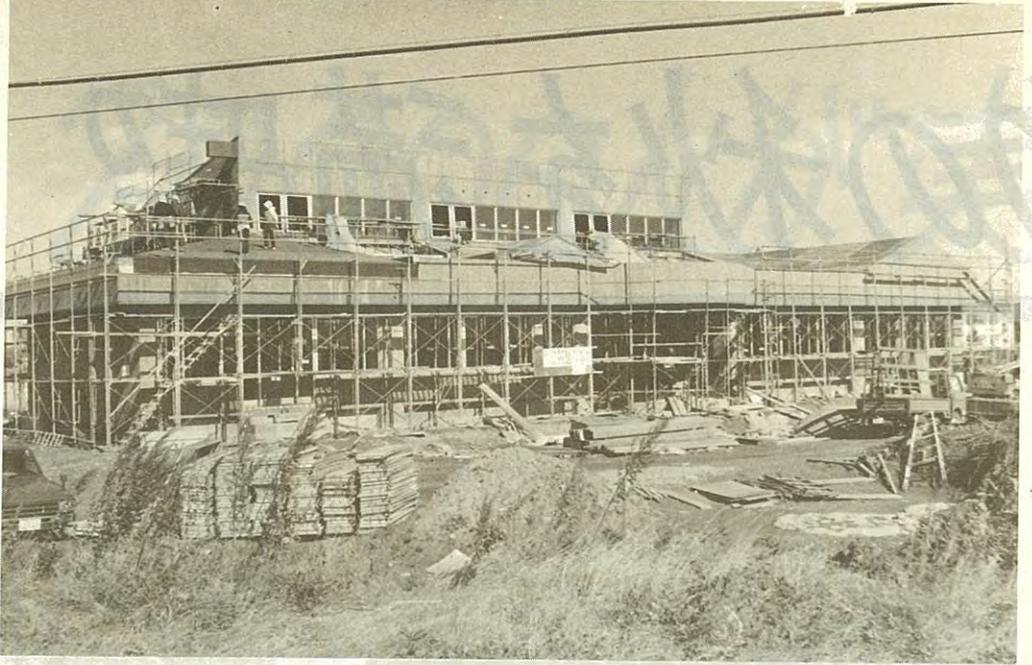
老人健康増進センター



札内北児童館・札内北コミュニ

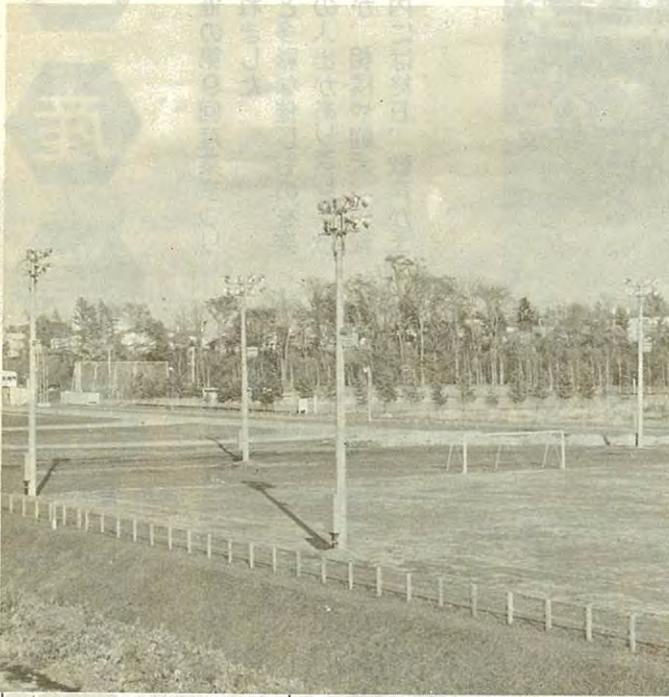
ニティーセンター

札内北児童館と札内北コミュニティーセンターの複合施設を札内桜町に建設中です。鉄筋コンクリート造り平家建てで、面積は約八百平方メートルです。そのうち児童館が二百平方メートル、コミセンが六百平方メートルです。十二月十日完成予定で、工費は約一億四千七百万円。



文京町近隣センター

札内文京町に近隣センターを建設中です。約165平方メートルの面積で、44畳の集会室、8畳、10畳の和室のほか調理室があります。12月25日完成予定で、工事進捗率は20%。使用開始は来年1月からとなります。工費2,360万円。



公営住宅

寿町に二棟十二戸(三LDK)を建設中です。セラミックブロック造りで、十二月月上旬には入居できる予定です。工費は九千百六十六万円。



ソフトボール場 夜間照明

幕別運動公園のソフトボール場に夜間照明を四基設置しました。一基に一キワのナトリウム灯などが8灯ついています。平均照度は二百ルクで、工費は二千九十万円。

りの秋を満喫

第9回産業まつり

町観光協会（大久保正司会長）主催の第9回産業まつりが十月五日、依田公園一帯で開かれました。

当日は秋晴れのもと、秋の味覚と多彩な催しものを楽しもうという家族連れなど二万人の人の出がありました。歌謡ショーやカラオケ大会などのほか、相撲や闘犬、一輪車などの競技大会も行われ、会場内には終日、歓声が上がっていました。



熱気球に乗り、空からの撮影による全景



上士幌バルーンクラブの協力により熱気球が上げられました



芝生の上では家族連れなどが秋の味覚を満喫



歌謡ショーに出演し「秋冬」を歌う原大輔さん



「まくべつ旅情」を歌う横内淳さん

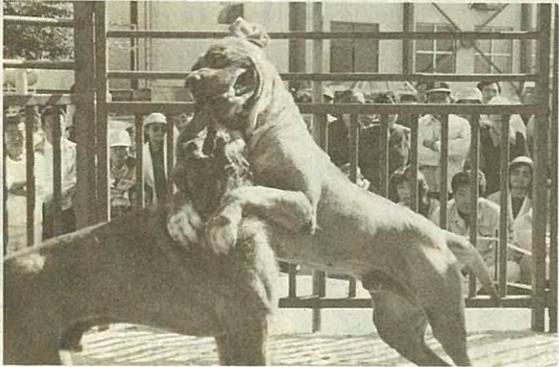


各種売店では飛ぶような売れ行き

20,000人が実

国本が瀬田
高野

今年十月十二日と山陽新聞
第四十一回国本が瀬田大会を
マーマモリト少子



人気を集めた全道闘犬大会
幕別場所



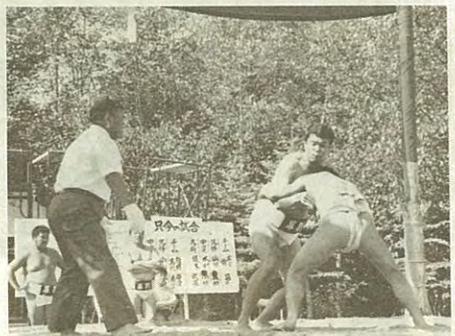
今年のモチまきは熱気球に乗り、
空から二千個がまかれました



人、人、人。天候にも恵まれ約20,000人の人が繰り出しました



妙技を披露した全十勝1輪車競技幕別大会



熱戦を繰り広げた全十勝相撲選手権大会



チビっ子縁日の商工青年部のお兄さん



熱唱が続いたカラオケ大会



ふるさと館での「写真で見る幕別の歴史展」

国体で鎌田くん(高)優勝

アーチエリー少年男子個人・団体ともV

第四十一回国民体育大会秋季大会が十月十二日から山梨県で開催されましたが、大会第三日目に終わったアーチエリー競技少年男子の部で鎌田芳彰君(幕別高校二年・札内中央町)が個人、団体ともに優勝を飾りました。

鎌田君は、50射(36射)で325点の日本高校新記録、30射(36射)で337点の合計662点の大会新記録で堂々の優勝。団体戦(選手三人による合計得点)では、愛知県と接戦になりながら終盤で逆転して優勝しました。



鎌田君(写真右)と西出監督

個人、団体の二冠を手中にした鎌田君は九月七日に幕別町で行われた国体道予選大会でも優勝し、代表選手として国体での活躍が期待されていました。全国規模の大

会への出場は今回が初めてでしたが、本番では自己ベストの記録を百点近く上回る成績でした。アーチエリーを始めて二年目ですが、「平常心でやれるよう心がけました」と語っていました。また少年男子監督の西出元さん(幕別高校教諭・南町)も「八位以内ぐらいには入れる」と思っていました。優勝するとは」と感無量の面持ちで語っていました。

開町記念マラソン大会 に三百六人が力走



トレセン前からスタートしたマラソン大会

第十七回開町記念兼開基九十年記念マラソン大会が体育の日の十月十日、幕別市街地で行われました。参加したのは小学生から大人まで三百六人で、秋空の下で元気いっぱい力走を見せ、さわやかな汗を流しました。



いしい
石井みゆきさん(19歳)
駒島514
▼幕別農協駒島事業所
今年の冬は
スキーにチャレンジ

高校を卒業して、今年の4月からここに勤めています。主に店舗のレジを担当していますが、いつも笑顔で対応するよう心がけています。これからは事務所の仕事も覚えなければならないので大変です。

スポーツが好きで、週1回トレーニングセンターでバドミントンを楽しんでいます。今年の冬はスキーにチャレンジしたいですね。

こんにちは 19

ふるさとへの便り...⑧

くらもちしょうごろう
倉持照二郎さん(58歳)
(札幌市白石区)



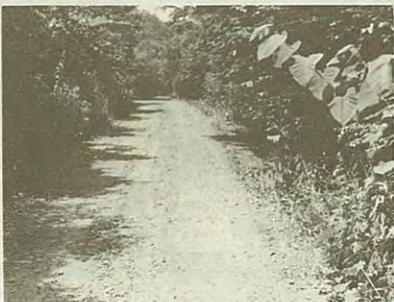
脳裏から離れないふるさと

両親とともに札幌に移って二十四年になりました。今年が幕別町開基九十年とのことで、記念行

事の成功を祈っています。ふるさと、幕別は常に私の脳裏から離れません。札幌にも幕別町の出身者が多く、それぞれの分野で活躍されています。

先日(九月二十三日)、札幌近郊に住む幕別町出身者が集って第二回札幌幕別会総会が行われました。町長さんや会員の皆さんから幕別町の近況をお聞きし、その発展にびっくりしています。ただ、神社の近くにあった相撲場がなくなったのが淋しいと思います。(氏は現在、札幌幕別会々長)

開基90年



20年前の幕札線。工事に大勢の囚人を投入したことから「囚人道路」とも呼ばれていた。



現在の幕札線。今年から全線が舗装になり交通量も多くなってきました。

まくべつタイムトンネル
この場所
今昔
まくべつタイムトンネルの八回目は、町道幕別札内線の変遷を紹介します。



札幌中央町第3公区(矢野善七公区長)で、10月19日、約50人が参加してちびっこ広場で消火器による初期消火訓練を行いました。初めて消火器を使う人が多く、いざという時のために熱心に消防署員の指導を受けていました。

万が一に備えて 初期消火訓練

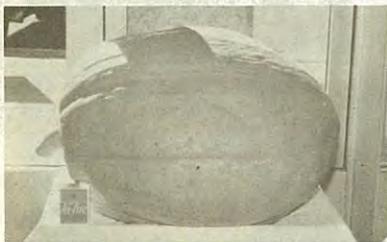
開基九十年記念事業の一つとして、今年から老人福祉センター横に造成を始めたシルバー庭園に、札内泉町のお年寄り二十人が十月二十三日、労力奉仕を行いました。寒風の吹きぬける中、園路の整備やツツジの移植など二時間にわたり汗を流しました。



シルバー庭園造園に一役



ユニークなカボチャが登場



役場ロビーにユニークなカボチャが二点展示されています。一点は小山優さん(相川)の寄贈した「開基九十年記念」かぼちゃ(写真上)五個、もう一点は本田敬一さん(宝町)が栽培した重さ四十三キのジャンボカボチャで来庁者の目を楽しませています。

幕別、札内地域子ども会育成連絡協議会の結成10周年を記念して、「ミステリー列車の旅」が10月2日に行われました。6両編成の臨時列車は結局糠平駅に着き、530人の子どもたちは、ミステリーヤスな旅を楽しみました。



ミステリー列車の旅を満喫

町民みんなの関心事

良い子を育てるために⑧

町児童生徒健全育成推進委員会

多感な中学生への 家庭教育のあり方

いじめ、登校拒否、校内暴力、非行、自殺、無気力などの問題行動が中学校教育や家庭に暗い影をなげかけていることは、皆さんご承知の通りです。

このような行為には、神経症的なものと反社会的行動のものと二通りあります。いずれもその根底には幼児期から小学校期における子育ての失敗があるとされています。過度の甘やかし、過干渉、または放任が成長するに従って自分では問題を処理することができず、何かのきっかけで前記のような問題行動を引き起こすと考えられています。したがって家庭での教育力の有無が重要なカギを握ることになります。

中学生は思春期で多感です。さらに進学、就職、友人関係、性の目覚めなど多くの悩みを持つ時代です。家庭では我が子がどんな悩みや希望を持っているかなど子どもを理解することが大

切です。過度の期待は子どもに不安を与え、ストレスを増大させます。放任は勝手気ままな性格をつくってしまいます。

家庭教育には父性原理(厳しさ、規制等)と母性原理(優しさ、思いやり等)が必要です。最近では甘えと放任が多くなっていると指摘する人がいます。親が子と接するには「任せる」「ほめる」「自信を持たせる」ことが大切です。ほめてしかることは、家庭教育の原点でありましょう。

次にそのしかり方、ほめ方の要点を挙げてみます。参考にしてみてください。

- しかり方六条
 - 一、小さな声で
 - 二、やさしい顔で
 - 三、子どもの身になって
 - 四、人と比べないで
 - 五、そのことだけを
 - 六、あっさりとして
- ほめ方五条
 - 一、原因、動機に力を入れて
 - 二、関係を考えながら
 - 三、共に学ぶ気持ちで
 - 四、自信を持たせるために
 - 五、可能な範囲で注文を

赤ちやんクラブ創立30周年

十一月二十八日に盛大に記念式典

三歳ぐらいまでの乳幼児をもつお母さんたちの集まりである幕別町赤ちやんクラブが創立三十周年を迎え、十一月二十八日に記念式典が行われます。

赤ちやんクラブは、母と子の保健衛生に必要な知識の習得を目的に昭和三十一年三月、八人のお母さんたちによって止若赤ちやんクラブが誕生しました。その後次々

と町内各地区に赤ちやんクラブが誕生し、昭和三十八年に中里赤ちやんクラブの結成により全町に赤ちやんクラブが組織されました。この年に各クラブを統合して幕別町赤ちやんクラブが設立されました。

現在は幕別、札内、糠内、駒島、古舞、途別の六支部で約五百人の会員を要しています。各支部では毎月一回例会を開催し母子の健康保



記念誌の表紙を飾る会員による人文字

20 すばらしい幕別温泉の環境

ひと

「まくべつ旅情」を
作詞した

おほさん
お忠雄
ただ
た
ほつ 堀田
た (古舞・56歳)

幕別温泉ホテルとその周辺の環境のすばらしさをうたった「まくべつ旅情」がレコード化され、八月十三日から発売になりました。この曲の作詞をしたのが堀田忠雄さんです。

環境をうたってみました

「作曲は横内淳さんの後援会を通して横内さんに依頼し、横内さん自身に歌っていただきました。

レコード化には、町観光協会の方がたに全面的にバックアップしていただいたんです。私一人の力ではレコード化できなかったでしょうね。本当に感謝しています。

レコードは千枚作成しました。横内さんとも相談して、著作権を町に寄贈したいと考えています

「よく国民宿舎幕別温泉ホテルを利用しますが、このすばらしい環境をなんとか広く紹介できないものだろうかと思っていました。

昭和五年十月に現在地で生まれる。町社会教育委員などを歴任。奥さんと長男の三人暮らし。「まくべつ旅情」のレコードは町観光協会で取り扱っています。

海外研修に2人を派遣 ヨーロッパ5カ国を視察研修

十一月二十八日の記念式典は町民会館で行われ、赤ちやんクラブの発展に功績のあった方への表彰が行われるほか、バザー、手芸品やクラブの歴史をつづった写真の展示、芸能発表会なども行われます。また創立三十周年記念誌も発行されます。



松本 純一さん



柿崎 俊男さん

町教育委員会では、広く諸外国の社会教育事情を視察研修し国際的視野を広め、地域づくりのリーダーとなることを期待して海外へ派遣する町民を募集してまいりましたが、このほどその二人が決まりました。派遣されるのは柿崎俊男さん(新町・四十一歳)と松本純一さん(宝町・四十三歳)です。二人は十勝生涯学習セミナー海外研修の一員として、十一月十八日か

ら十二月二日の十五日間にわたりイギリス、フランス、西ドイツ、スイス、デンマークの五カ国を訪問する予定です。各国では社会教育施設や社会福祉施設の運営や活動を視察研修するほか、民泊による各国の家庭教育などの研修も行われます。

ご寄付ありがとうございます

町社会福祉協議会へ:

- ▽永井リキさん(糠内)から三万円
- ▽米山鉄夫さん(本町)から三万円
- ▽本田敬一さん(宝町)から十万円
- ▽富山県普明会教団高岡支部から五万円
- ▽糠内要吉さん(南町)から五万円
- ▽広瀬始さん(千住)から五万円
- ▽糠内神社秋祭演芸部から五千四百八十円

老人クラブへ:

- ▽永井リキさん(糠内)から糠内老人クラブへ三万円
- ▽米山鉄夫さん(本町)から中央老人クラブへ三万円
- ▽本田敬一さん(宝町)から宝町宝寿クラブへ二万円
- ▽糠内要吉さん(南町)から南町老人クラブへ五万円
- ▽鎌田アサノさん(明野)から明野新川長寿会へ一万円

その他:

- ▽永井晴男さん(糠内)から南幕別新生活改善推進委員会へ五千円

(九月二十一日〜十月二十日分)
つながったデー写真展を十一月十五日(十二時〜十九時)、十六日(十時〜十六時)の両日、町民会館で開催します。